

湖東普及だより

H23
冬号

編集発行 滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課（発行責任者：小原安雄）
彦根市元町4番1号
TEL：0749-27-2228 FAX：0749-23-0821 E-mail：ga32@pref.shiga.lg.jp
ホームページアドレス：http://www.pref.shiga.jp/hikone-pbo/nogyo/

米の品質向上に向けて

良質米安定生産に向け、昨年のお米の栽培を振り返り、平成24年産お米栽培の計画を立てましょう。

23年産お米の収量・品質はどうでしたか？

結果

- 本県の作況指数は99と平均並みでしたが、ふるい下に落ちるお米が多く、収量は少なくなりました。
- 1等米比率は早生品種でやや高く、中生・晩生品種は乳白粒や未熟粒が増加して低くなりました。

原因

- 早生品種では5月中・下旬の気温低下や日照不足により、生育初期の茎数は十分確保できず、その後回復したものの、天候不順もあり、穂数は少なくなりました。
- 中生品種は8月上・中旬の異常高温や台風の影響、8月中～9月上旬の日照不足により、登熟不足となり、未熟粒が増加しました。

24年の取り組みポイント！…「基本技術の徹底」

●適期中干しと出穂前後3週間の湛水管理の徹底

23年の中生・晩生品種は気象の影響を主な要因とする品質低下が発生しましたが、早生品種では分けつが抑えられ穂数が増えすぎず、品質低下が少なくなりました。このことから無効分けつの発生や籾数を抑えるため、適期中干しを行うことが重要です。

●出穂後お米の栄養状態の維持

品質向上には出穂期の葉色を薄く落としすぎないことが重要です。特に高温年では栄養不足になりやすくなります。そこで、登熟後半まで栄養状態を維持させるために、穂肥の適期・適量施用を確実にいきましょう。

【平成24年度 水稲重点技術対策】

過剰な籾数の防止 および お米の活力の維持	施肥	①基肥、追肥の減量 ②生育に応じた穂肥
	植え付け	③遅植え ④細植え、疎植
	水管理	⑤早めの溝切りと中干しの徹底 ⑥早期落水防止 ⑦出穂前後各3週間の常時湛水
	土づくり	⑧深耕（15cm以上） ⑨堆肥、土づくり肥料（土壌診断に基づく施用）
カメムシ防除の徹底		⑩畦畔2回草刈り ⑪品種別に適期カメムシ防除



すすめよう「環境こだわり栽培」

●なぜ今環境こだわり栽培なのでしょうか？

unnecessary農薬散布を減らすことができます。

農薬の使用上限が決められていることから、病害虫の発生予察情報やほ場での雑草や病害虫の発生状況によって、農薬散布をするかどうかを決める必要があります。日頃から情報を収集して農薬を効果的に使用することで、 unnecessary農薬を削減します。

有機質肥料を施用すると地力が向上します。

化学合成肥料を連続して多量に使い続けると、その土地の本来持つ地力が低下します。土に特定の栄養素が偏ってしまい、作物の生育に影響がでます。前作物の残さ（稲わら、麦わらなど）や堆肥、緑肥、有機質肥料を有効に活用し、その土地の地力を向上させましょう。

農業を取り巻く周辺環境にも配慮しています。

環境こだわり栽培に取り組むほ場では、農薬が周辺に飛び散ることを防止したり、廃液を決められた方法で確実に処理することなどが義務づけられています。また、環境こだわり水稲栽培ほ場では代かきや田植え時の濁水流出防止対策にも取り組んでいただきます。



☆安全で安心な農産物を消費者へ提供できます！！

以上のように、農薬や化学肥料を慣行の半分以下で栽培した農作物なので、消費者には安心して購入してもらえます。また、一部、残留農薬の調査も実施されています。



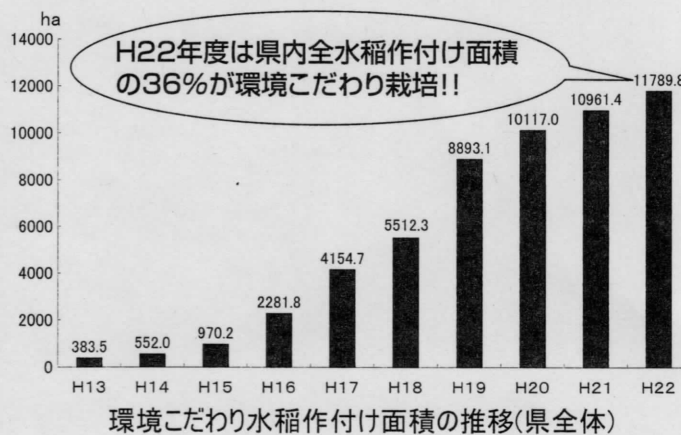
●環境こだわり栽培を滋賀県の標準的な栽培方法にしましょう。

県内では一定の評価を受けている環境こだわり農産物も、消費者の方にはまだまだ広く知られているわけではありません。

多くの人が環境こだわり栽培を実践すれば・・・

環境こだわり農産物が目に触れる機会が増↑
消費者が滋賀県産の農産物を安心して購入

環境こだわり農産物を滋賀県農産物のスタンダードへ！！



●「環境こだわり農業」を核にした新たな農業経営の展開事例（県内外）

【集落営農組織とJAが連携した取組事例】

複数の集落営農組織とJAが連携して付加価値のある米づくりを展開し、JAの農産物直売所をとあして地元消費者へ販売する取組が県内のいくつかの地域で出てきています。

【環境に配慮し、地域の工夫を活かした新たな米づくりの取組事例】

兵庫県豊岡市「コウノトリ育む農法」(安全なお米と生き物を同時に育む農法)が全国的に注目されています。これまでの低農薬・低化学肥料の取組を一步進め、コウノトリと共生できる健康で住みよいまちづくりを目指しておられます。

新たな「環境直接支払制度」について

○来年度より環境こだわり栽培に対する支援が新制度に移行します！

- ・支援を受けられる対象者は農業者（法人を含む）、共同販売経理を行う集落営農組織、農業者グループです。従来の制度のように地域やグループで一定の人数や面積をまとめる必要はありません。また、共同活動を実施していない地域での取組に対しても支援を受けることができます。
- ・対象農地は農業振興地域内の農地に拡大されています（青地も白地も両方）。
- ・支援対象となるのは、「環境こだわり栽培」に加えて、地球温暖化防止や生物多様性保全に貢献する技術の実践が必要となります（例：カバークロープ（レング）と環境こだわり水稲栽培の組合せ）。
- ・支援単価は取組内容により10aあたり2,000円～8,000円となっています。ただし、1ほ場あたり年間1回のみでの支援となり、複数の取組に対して重複して交付されません。

○以下の点については引き続き支援を受けるための要件となっています。

- ①エコファーマーの認定を受けていること（詳しくはこのページの下をご覧ください）。
- ②販売を目的として生産を行う農業者や農業者グループであること。
- ③環境こだわり栽培であること（有機栽培も環境こだわり認証が必要です）。

～生産計画締め切り延長のおしらせ～

1月末が締め切りとなっている作物の生産計画の締め切りが、本年度に限り3月30日に延期になります。対象作物は水稲、はとむぎ、3～6月までが播種時期の野菜、花き、飼料作物と果樹、工芸作物の一部です。なお3月に播種等を行う作物は播種等の2週間前が締め切りになります。

エコファーマーの申請・更新手続き！

エコファーマーってなに？

土壌診断の結果から判断した土づくりを基本に、化学肥料と化学農薬を減らした環境に調和した農業を実践する計画をたて、知事の認定を受けた農業者をエコファーマーといいます。

計画の内容は？

- ①土づくり技術
稲わらのすきこみ、たい肥の投入等
- ②化学肥料を減らす技術
有機質肥料の施用、局所施肥（施肥田植機による側条施肥）等
- ③化学合成農薬を減らす技術
温湯種子消毒、畦畔の機械除草、生物農薬の利用等



計画の提出先は？

提出および問い合わせは当課（滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課）へお願いします。

※新たな「環境保全型農業直接支払制度」の支援を受けるためには、エコファーマーの認定を受けることが必要です。また、平成19年に認定を受けられた方は、更新手続きが必要となります。
平成24年3月30日までに手続きを済ませてください。

指導農業士とは？

県では、現に優れた農業経営や魅力ある農村生活を行っておられ、農村青少年の育成に指導的役割を果たしていただいている方を「指導農業士」として認定し、担い手育成、指導活動を行っていただいております。

湖東管内では、現在15名の方を認定し、青年農業者の育成や地域農業の新たな担い手の確保など、地域農業の発展に向け、当課の普及活動と連携して活動を行っていただいております。

市町別内訳	彦根市	愛荘町	豊郷町	甲良町
	9名	3名	2名	1名

作目別内訳	稲作	野菜	花き	畜産
	11名	1名	2名	1名



新規就農者との意見交換会



後継者クラブ・プロジェクト発表大会時の指導・助言

湖東地区農業後継者クラブの紹介

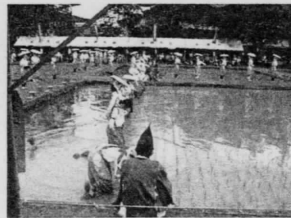
湖東地域では、未来の地域農業を担う35歳以下の青年農業者により、「湖東地区農業後継者クラブ連絡協議会」を組織しています。現在クラブ員数は15名です。

クラブ員の経営内容は、米・麦・大豆の土地利用型を中心に、野菜や花き等の園芸品目や、畜産と多岐に渡ります。農業法人の従業員の加入も増え、多様な農業者組織となっています。

《活動内容の紹介》

【地域伝統行事への参加】

多賀大社で6月に開催される御田植祭において早乙女に田植え指導しています。また、同社で8月に開催される萬灯祭で消費者交流や青年農業者の活動PRを行っています。



御田植祭



先進地視察研修

【先進地視察研修】

農業先進地や優良経営体、農業関連企業へ赴き経営手法や技術を学んでいます。近年は、他地域の青年農業者組織との交流会を開催し、互いに農業後継者という立場で意見交換を行っています。

その他、経営上の課題解決に向けたプロジェクト研究活動や簿記研修会など、農業技術や経営感覚の向上、さらにはクラブ員同士の親睦を深めるなど、様々な活動を行っています。

若くして当クラブで培われた経験や人間関係は、将来の農業経営にきっと役立ちます。湖東地区農業後継者クラブ連絡協議会では新しい仲間を募集しています。興味をお持ちの方は事務局（当課）までお問い合わせください。